

令和3年度 沖縄県振興審議会 第3回農林水産業振興部会議事要旨

令和3年8月17日（火）10:00~12:00

議題【5-(5)-イ② 農林水産業を支える多様な担い手の育成・確保、
3-(7)-エ 担い手の経営力強化、
4-(3)-ア③ 農林水産分野における国際協力の推進】について

- 農業改良普及センターの機能充実を計画に盛り込むべき。
- 水産業や林業の就業者も含まれるような表現に修正してほしい。
- 林業や木材産業の担い手育成に対する施策を記載すべき。
- 本格的な農業を始める前段階から受入れるような対応も計画に盛り込むべき。
- 外国人材の活用は主力として扱うような戦略的な表現を検討してほしい。
- 農業参画のところではシニア層も含めるべき。
- 農福連携について独立させて書いてはどうか。
- 農地の集約化というところに注目した書きぶりにしていく必要がある。
- 担い手の経営力強化では、普及組織の役割も重要と思われるため記載すべき。
- 農協の経営基盤強化の促進は何をしようとしているのか分かりづらいので表現を工夫すべき。
- 生産者の技術力を上げていくような施策を盛り込むべき。
- 農林漁業団体の社会的な役割も明確化すべき。

- 株式会社や法人の参入について前広な記載にすべき。
- 技術だけでなく、経営のノウハウも含めて農業、漁業の就業につながるような教育をすべき。
- 農業関係者ではなく、もう少し幅広いところの対策が必要である。

議題【3-(7)-オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進】について

- パイナップルは果樹に含まれると思われるため、品目の例示の書き方を整理すべき。また、「多様なニーズや気候変動等に対応した品種の開発」に統一してはどうか。
- 林業分野の品種育成も記載してほしい。また、知的財産保護も含めて記載してほしい。
- 水産分野ではモズクがあるので、文の中で表記するか、別立てするか工夫して記載してほしい。
- スマート農業の導入について、どのような形態を想定しているか具体的な取組が見えない。
- スマート林業という記載を加えてほしい。
- 県の独自ブランドの確立の取組が分かるように記述を整理してほしい。
- 産官学連携の研究開発について、現場への定着に向けた取組をしてほしい。
- やんばる型森林業の実証林、展示林を行う取組を記載してほしい。

議題【1-(3)-ア④ 赤土流出防止に向けた総合対策、
3-(7)-カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備】について

- 赤土流出防止に向けた総合対策に耕作放棄地や未利用地を森林に戻す森林再生の具体的施策を示すべき。

- 赤土流出防止の取組を子どもたちに理解させる取組をしてほしい。
- 「堆積赤土等の除去」は河口域で堆積している赤土等の除去をさしているのか。また、さしているとすれば、事業化検討してほしい。
- 自然環境に配慮した森林施業により生産された木材を乾燥する施設と付随する木工加工施設を設立する必要がある。沖縄島やんばるあるいは石垣島の森林地帯から生産される材比重の高い有用な木材は、十分な乾燥処理をしないと木質資源として高い信頼性と材の安定性が見込めない。このため、県内で木材の乾燥処理が完全に処理できる大型の加圧式などの乾燥機の導入を生産基盤として整備する必要がある。
- 世界自然遺産に登録されたが、緩衝地帯での林業について誤解を受ける可能性もあるため、ゾーニングの意味を書き足してほしい。
- 耕畜連携を推進していく視点を盛り込んでほしい。また、環境対策の観点も書くべき。
- 園芸用施設の整備を記載するべき。
- 防風林の整備を記載するべき。

その他

- 沖縄県の伝統工芸品（三線や芭蕉布、離島の上布など）の生産に必要な材、三線であればコクタン材、イスノキ材、イヌマキ材、上布であればチョマや芭蕉などの生産のための基本的な原料が枯渇している現状で、将来的にもそれらの継続的な生産に向けた仕組み作りが必要である。
- 希少価値があるものの品質を徹底して出していくという文言を計画に入れる必要がある。
- 地球温暖化への対策について、農林水産業分野でも計画に盛り込むべき。
- 中央卸売市場の建て替えを含めた機能強化を明確に位置付けてほしい。
- 危機意識をもった計画にしてほしい。